



手洗いチェッカー体験などが行われた「看護の日 & 看護週間」イベント—製鉄記念室蘭病院

看護週間 イベント

看護の日(12日)と看護週間(10～16日)に合わせて、室蘭市内の総合病院は各種相談事業やパネル展を開き、健康づくりや病気予防、病院の役割などを来院者りに伝えている。(松岡秀宣)

製鉄室蘭病院

室蘭市知利別町の製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)は11、12の両日、看護師らによる体脂肪測定や手洗いチェッカー体験、各種

相談事業を行った。

手洗いチェッカー体験では、機器に両手をかざした来院者に対して、看護師が「洗い残し」などを説明したほか、感染症などを予防する観点から、アルコール消毒の重要性などを説明していた。ロビーには、各職場を紹介するポスターを展示。来院者は看護師の日常業務に理解を深めていた。

このほか、11日は「おやすみ相談」、12日は「栄養相談」のコーナーを設けて、薬剤師や栄養士らが来院者の健康に関する悩みなどに対応し、的確にアドバイスしていた。